



大井町
山崎 豊さん（33歳）

□プロフィール

東濃および市バスケットボール協会の審判長。日本バスケットボール協会公認A級審判として、全国各地で活躍する。中津川市内の企業で働きながら、火・金曜の夜と土日は、地域クラブ「恵那ジュニアバスケットボールクラブ」のコーチとして中学生の指導も行う。休日はほぼバスケットボールに費やしている。好きな食べ物は焼肉。



▲東海学生バスケットボール大会の審判を務める山崎さん

最高級の舞台を支えるために
東濃初のバスケットボールA級を取得

笛一つで、試合の空気が変わる。選手が最高のプレーを発揮できるよう、公平で円滑な試合を支える審判。その高い技術と経験が認められ、東濃地域で初めて日本バスケットボール協会のA級審判ライセンスを取得したのが山崎さんだ。小学生の頃、友達に誘われて始めたバスケットボール。中学校では副キャプテンを務め、県大会優勝、東海大会ベスト4進出を果たした。高校はバスケットボールの強豪校へ進学。仲間を支える役割も担う中で、教えることの楽しさを知り、大学進学後は、かつて自身も所属したジュニアクラブで中学生の指導を始めた。練習で審判を務めるうちに、その奥深さに魅了され、本格的に審判の道へ。

現在は、会社員として働く傍ら、ジュニアクラブでの指導を続け、週末は全国各地の試合で審判を務める。仕事と両立しながら、ルールの知識だけでなく、選手やコーチとの接し方、試合の動きを見極

める力を磨き、一歩ずつ上位ライセンスへ挑戦してきた。A級取得への道のりは決して平坦ではなかった。A級審判になるには、県の推薦を得て、難関の本試験に臨む必要がある。一度は最終審査で不合格となり、翌年は推薦すら得られなかった。それでも諦めず、試合映像を何度も見返し、全国各地で経験を積み、先輩審判から助言を受け続けた。そして本年4月、念願のA級ライセンスを取得。「合格したときは、ほっとした」と笑顔を見せた。

指導する中学生らの成長に関わることもやりがいを感じ「審判を務める試合で、成長した教える子に出会えるとうれしい」と目を細める。指導と審判の両面で、恵那のバスケットボールを支えている。

「次の目標は、5年以内に国内最高ライセンスのS級を取得すること」と語る山崎さん。積み重ねてきた努力は次の挑戦へと続き、その笛が今日もコートに響き渡る。



恵那市がロケ地となったドラマ「VIVANT(ヴィヴァン)」シーズン2の放送開始に伴い、明知鉄道でラッピング列車の運行がスタート。ドラマや列車をきっかけに、観光誘客と地域活性化に取り組めます。

7/18 「VIVANT」ラッピング列車
運行スタート！



7/4 安全を祈願
寿老の滝で滝開き

寿老の滝(三郷町)で、滝開きと安全祈願祭が行われました。夏は、涼を求めて家族連れなどでにぎわいます。

7/10 水難事故に備えて
恵那峡で合同救助訓練



市消防本部、恵那警察署、恵那峡遊覧船が合同で水難救助訓練を実施。一連の手順や情報共有の方法を確認しました。

7/14 学んで実践！
武並小で防災スクール

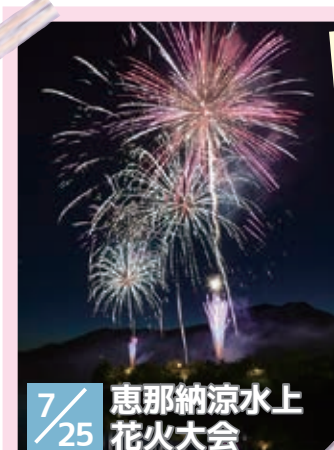


武並小4～6年生が、消防団員らから土のう作りを学びました。その後、グループごとに考えた避難所のレイアウトを発表しました。

7/21 みんなでイチツ、ニツ！
住民参加型ラジオ体操



東野小体育館で、夏休み期間中に誰でも参加できるラジオ体操を開催。初日は、一級ラジオ体操指導士から正しい動きを学びました。



7/25 恵那納涼水上
花火大会



7/17-18 ちょうちんが彩る
明智ぎおん祭

各地で夏祭りが開催され、来場者らは地元の食や花火などを楽しみました。

こどもフェスタ2026に、両日で約1,400人が来場。会場は、さまざまなブースを楽しむ子どもたちの笑顔であふれました。



7/25-26 25回記念！
えなしこどもフェスタ